

令和8年度 瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シート

担当課	健康づくり課	担当課長名	和田 美鈴
-----	--------	-------	-------

1. 事業概要		部・局名	健康福祉部	課・所属名	健康づくり課
施策体系	大区分	生涯活躍のまちづくり		事業概要	東濃中部病院事務組合に対し公立東濃中部医療センターの建設費償還及び運営に係る負担金を支出します。病院事務組合の運営は構成市（瑞浪市・土岐市）の負担金、補助金等により行われます。構成市の負担金割合は人口割により算出します。
	中区分	健康・医療			
小区分	地域医療体制の確保				
実施事業	事業名	東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）		翌年度以降3年間の内容	
	事業目的	公立東濃中部医療センターの建設費償還及び運営に係る負担金			
	目標指標	設定なし			
	事業期間	R3～			
	総括表掲載	掲載あり			
	二次評価対象	○			
予算科目	会計	款	項	目	事業名
	001 一般会計	004 衛生費	001 保健衛生費	001 保健衛生総務費	04010122 東濃中部病院事務組合負担事業

2. 事業評価

投入コスト（単位：千円）								目標値実績（単位： ー ）		
年度区分等	決算事業費（単位：千円）							年度	実績	目標
	国庫支出金	県支出金	起債	基金	その他	一般財源	計			
6						147,293	147,293	5	0.0	0.0
7						816,859	816,859	6	0.0	0.0
8								7	0.0	0.0
9								8	0.0	0.0
10								9	0.0	0.0
11								10	0.0	0.0
12								11	0.0	0.0
13								12	0.0	0.0
14								13	0.0	0.0
15								14	0.0	0.0
計						964,152	964,152	15	0.0	0.0
担当課評価	実施状況	東濃中部病院事務組合に対し公立東濃中部医療センターの建設費償還及び運営に係る負担金を支出します。								
	問題課題	フルスペックの医療体制の維持推進のため、引き続き医師、看護師の確保が必要です。								
	具体的改善内容	関係行政機関と連携し、医師や看護師を対象とした奨学金制度による支援を行うなど、一体となってその確保に向けたバックアップを実施しています。								
査定								次年度方向性	現状で継続	

3. 達成度評価

達成度	ー	【達成度凡例】 A…目標値を達成 B…目標値の7割以上達成 C…目標値の5割以上達成 D…目標値の3割以上達成 E…目標値の3割未満の達成
-----	---	--

4. 二次評価

二次評価委員名				
(1) 項目別評価		(2) 個人総合評価		
達成度	事業の成果や実施の目標に対する達成状況。	評価		評価
効率性	実施体制、実施主体を含め、事業の進め方が明確でスムーズか。	評価		
必要性	市民ニーズや社会情勢等を踏まえた事業を実施する必要はあるか。事務事業の現状や成果から考えて、廃止・休止の可能性はあるか。 ※完了した事業については、効果の観点で必要であったか評価する。	評価		
明瞭性	事業の内容やその評価が、市民に分かりやすいか。	評価		
		意見・コメント		

【二次評価基準凡例表】

評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たりのな実施に見える。方法の見直しが強く求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

(2)個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

(3)委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和8年度 瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シート

担当課	シティプロモーション課	担当課長名	安藤 学
-----	-------------	-------	------

1. 事業概要				部・局名	みずなみ未来部	課・所属名	シティプロモーション課
施策体系	大区分	魅力あふれるまちづくり		事業概要	令和4年度より市内の高校生と大学生を対象としたまちづくりチーム、瑞浪市役所「ミライ創ろまい課」を結成し、継続的に活動中です。本事業により、若者自らが企画した地域活動に大人を巻き込みながら実践することを通じて、若者が進んでまちづくりに参画し、まちに“にぎわい”を創出することを目指します。 特定財源：無		
	中区分	シティプロモーション					
小区分	シビックプライドの醸成と多様な情報発信						
実施事業	事業名	ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業		翌年度以降3年間の内容	<積算> 委託費：1,000千円（ファシリテーター）、活動費：1,000千円（消耗品、旅費、業務委託等）		
	事業目的	若者のシビックプライドの醸成					
	目標指標	参加者のmGAP（修正地域参画総量指数）の上昇					
	事業期間	R7～R17					
	総括表掲載	掲載あり					
	二次評価対象	○					
予算科目	会計	款	項	目	事業名		
	001 一般会計	002 総務費	001 総務管理費	011 自治振興費	02011130	ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業	

2. 事業評価

投入コスト（単位：千円）								目標値実績（単位： mGAP ）		
年度区分等	決算事業費（単位：千円）							年度	実績	目標
	国庫支出金	県支出金	起債	基金	その他	一般財源	計			
6								5	0.0	0.0
7					1,228		1,228	6	0.0	0.0
8								7	126.0	200.0
9								8	0.0	200.0
10								9	0.0	200.0
11								10	0.0	200.0
12								11	0.0	200.0
13								12	0.0	200.0
14								13	0.0	200.0
15								14	0.0	200.0
計					1,228		1,228	15	0.0	200.0
担当課評価	実施状況	現在、市内の3高校の在校生にて活動している創ろまい課は、4・5期生の62名体制で実施しています。現在は、3つのチームに分かれて各自で、市の魅力発信や、特産品の開発に向けて取り組むことで、市のことを考え、知りってもらいながらシビックプライド醸成の機会となっています。								
	問題課題	学生が市について考え、積極的に関わるために学生の主体性をもたせた取組が必要です。								
	具体的改善内容	学生の意見や思いを聞く場面を増やし、また実行に移せるような取組となるような運営を行います。								
査定								次年度方向性	現状で継続	

3. 達成度評価

達成度	C	【達成度凡例】 A…目標値を達成 B…目標値の7割以上達成 C…目標値の5割以上達成 D…目標値の3割以上達成 E…目標値の3割未満の達成
-----	---	--

4. 二次評価

(1) 項目別評価				(2) 個人総合評価	
達成度	事業の成果や実施の目標に対する達成状況。	評価		評価	
効率性	実施体制、実施主体を含め、事業の進め方が明確でスムーズか。	評価		意見・コメント	
必要性	市民ニーズや社会情勢等を踏まえた事業を実施する必要はあるか。事務事業の現状や成果から考えて、廃止・休止の可能性はあるか。 ※完了した事業については、効果の観点で必要であったか評価する。	評価			
明瞭性	事業の内容やその評価が、市民に分かりやすいか。	評価			

【二次評価基準凡例表】

(1)項目別評価					
評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たりのな実施に見える。方法の見直しが強求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

(2)個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

(3)委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和 8 年度 瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シート

担当課	シティプロモーション課	担当課長名	安藤 学
-----	-------------	-------	------

1. 事業概要				部・局名	みずなみ未来部	課・所属名	シティプロモーション課
施策体系	大 区 分	魅力あふれるまちづくり					
	中 区 分	住環境					
	小 区 分	移住定住の促進					
実施事業	事 業 名	地域魅力発信事業					
	事業目的	瑞浪市の P R を積極的に実施し、本市の認知度を高めることで、移住の推進や住民のシビックプライド醸成にも繋げていきます。					
	目 標 指 標	本市への移住者数					
	事業期間	H26～					
	総括表掲載	掲載あり					
	二次評価対象	○					
予算科目	会 計		款	項	目	事業名	
	001 一般会計		002 総務費	001 総務管理費	007 企画費	02010727	地域魅力発信事業

2. 事業評価

投入コスト（単位：千円）								目標値実績（単位： 人 ）		
年度区分等	決算事業費（単位：千円）							年度	実績	目標
	国庫支出金	県支出金	起 債	基 金	その他	一般財源	計			
6						2,212	2,212	5	110.0	65.0
7						1,547	1,547	6	75.0	170.0
8								7	93.0	170.0
9								8	0.0	175.0
10								9	0.0	180.0
11								10	0.0	180.0
12								11	0.0	180.0
13								12	0.0	180.0
14								13	0.0	180.0
15								14	0.0	180.0
計						3,759	3,759	15	0.0	180.0
担当課評価	実施状況	ホームページでの制度紹介や SNS 広告を打つ P R だけでなく、東京での移住フェアへの出展による直接移住望者への P R を行うことができました。								
	問題課題	情報発信不足により、瑞浪市の情報を知ってもらえておらず、より制度やまちの情報を伝えることが重要となります。								
	具体的改善内容	より移住希望者の候補先として瑞浪市を選んでいただけるよう、出展を継続し、P R 方法においてはより効果的な広告が打てるよう研究を進めます。								
査定								次年度方向性	拡大して実施	

3. 達成度評価

達成度	C	【達成度凡例】 A…目標値を達成 B…目標値の7割以上達成 C…目標値の5割以上達成 D…目標値の3割以上達成 E…目標値の3割未満の達成
-----	---	--

4. 二次評価

（1）項目別評価				（2）個人総合評価	
達成度	事業の成果や実施の目標に対する達成状況。	評価		評価	
効率性	実施体制、実施主体を含め、事業の進め方が明確でスムーズか。	評価		意見・コメント	
必要性	市民ニーズや社会情勢等を踏まえた事業を実施する必要はあるか。事務事業の現状や成果から考えて、廃止・休止の可能性はあるか。 ※完了した事業については、効果の観点で必要であったか評価する。	評価			
明瞭性	事業の内容やその評価が、市民に分かりやすいか。	評価			

【二次評価基準凡例表】

(1)項目別評価

評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たりのな実施に見える。方法の見直しが強く求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

(2)個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

(3)委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和8年度 瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シート

担当課	農林課	担当課長名	伊東 範明
-----	-----	-------	-------

1. 事業概要				部・局名	経済部	課・所属名	農林課	
施策体系	大区分	活みなぎるまちづくり		事業概要	農産物等直売所の適正な運営に資するため、指定管理者に指定管理料を支払うとともに、空調・消防設備等の保守点検、修繕を実施します。 【指定管理料】 R2：4,407千円、R3：4,434千円、R4：3,982千円、R5：19,871千円、R6：20,903千円、R7：24,206千円 R8：24,777千円（駐車場・トイレ・芝生広場・親水階段・河川道路管理経費、各種分析・販売促進イベント等実施費用、農業体験費用） R9,R10：20,946円（駐車場・トイレ・芝生広場・親水階段・河川道路管理経費、各種分析・販売促進イベント等実施費用） R11以降：8,946千円（駐車場・トイレ・芝生広場・親水階段・河川道路管理経費） 特定財源：地域未来交付金 1/2			
	中区分	農林業						
	小区分	農家の育成・支援						
実施事業	事業名	農産物等直売所管理経費（指定管理）		翌年度以降3年間の内容				
	事業目的	農産物等直売所を地域農業の振興及び観光の拠点とし、適正に施設の管理と運営を行います。						
	目標指標	年間来場者数						
	事業期間	H24～						
	総括表掲載	掲載あり						
	二次評価対象	○						
予算科目	会計	款	項	目	事業名			
	001 一般会計	006 農林水産業費	001 農業費	003 農業振興費	06010327	農産物等直売所管理経費		

2. 事業評価

投入コスト（単位：千円）								目標値実績（単位：人）		
年度区分等	決算事業費（単位：千円）							年度	実績	目標
	国庫支出金	県支出金	起債	基金	その他	一般財源	計			
6	4,880					20,200	25,080	5	466,046.0	600,000.0
7	6,000				1,000	19,598	26,598	6	497,002.0	480,000.0
8								7	524,613.0	504,000.0
9								8	0.0	544,000.0
10								9	0.0	550,000.0
11								10	0.0	550,000.0
12								11	0.0	550,000.0
13								12	0.0	550,000.0
14								13	0.0	550,000.0
15								14	0.0	550,000.0
計	10,880				1,000	39,798	51,678	15	0.0	550,000.0
担当課評価	実施状況	指定管理者に対して、施設を適正に管理・運営するよう指導したほか、空調・消防等施設の保守点検を実施しました。地域未来交付金を活用した情報発信やデータ分析による店舗レイアウトの変更等が実施されたことにより、来場者数・販売額を拡大することができました。								
	問題課題	R8年度で第3期指定管理期間が満了となることから、改めて指定管理者に対してこの期間の総括を行い、第4期以降の展望を検討するよう指導します。								
	具体的改善内容	地域未来交付金の活用により、市内観光拠点の核となるよう、観光分野との連携を深めるよう検討します。								
査定							次年度方向性	現状で継続		

3. 達成度評価

達成度	A	【達成度凡例】 A…目標値を達成 B…目標値の7割以上達成 C…目標値の5割以上達成 D…目標値の3割以上達成 E…目標値の3割未満の達成
-----	---	--

4. 二次評価

(1) 項目別評価

達成度	事業の成果や実施の目標に対する達成状況。	評価	
効率性	実施体制、実施主体を含め、事業の進め方が明確でスムーズか。	評価	
必要性	市民ニーズや社会情勢等を踏まえた事業を実施する必要はあるか。事務事業の現状や成果から考えて、廃止・休止の可能性はあるか。 ※完了した事業については、効果の観点で必要であったか評価する。	評価	
明瞭性	事業の内容やその評価が、市民に分かりやすいか。	評価	

【二次評価基準凡例表】

(1) 項目別評価

評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たりのな実施に見える。方法の見直しが強求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

(2) 個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

二次評価委員名	
---------	--

(2) 個人総合評価

評価	
意見・コメント	

(3) 委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和8年度 瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シート

担当課	シティプロジェクト推進課	担当課長名	今井 哲也
-----	--------------	-------	-------

1. 事業概要				部・局名	建設部	課・所属名	シティプロジェクト推進課
施策体系	大区分	魅力あふれるまちづくり					
	中区分	住環境					
	小区分	瑞浪駅周辺の再開発					
	事業名	瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）					
実施事業	事業目的	JR瑞浪駅周辺地域は、瑞浪市の中心市街地であるものの、まちのにぎわいの低下や、建築物の老朽化など、多くの課題を抱えています。そこで「未来の子どもたちに渡せるまち」をコンセプトに、瑞浪らしさを活かした多世代交流空間をつくり、まちの活性化や賑わいの創出を図り、まちの魅力及び生活環境の向上を目指します。					
	目標指標	適切な時期の履行					
	事業期間	H28～R10					
	総括表掲載	掲載あり					
	二次評価対象	○					
予算科目	会計	款	項	目	事業名		
	001 一般会計	008 土木費	004 都市計画費	001 都市計画総務費	08040134	瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）	

2. 事業評価

投入コスト（単位：千円）								目標値実績（単位：件）		
年度区分等	決算事業費（単位：千円）							年度	実績	目標
	国庫支出金	県支出金	起債	基金	その他	一般財源	計			
6	31,989					107,698	139,687	5	45.7	60.0
7						593,552	593,552	6	1.0	1.0
8								7	1.0	1.0
9								8	0.0	1.0
10								9	0.0	1.0
11								10	0.0	1.0
12								11	0.0	0.0
13								12	0.0	0.0
14								13	0.0	0.0
15								14	0.0	0.0
計	31,989					701,250	733,239	15	0.0	0.0
担当課評価	実施状況	駅北地区複合公共施設については、整備運営事業者が決定しており、実施設計及び開館準備作業中です。併せて周辺道路や駐車場についても設計作業中です。北口改札については、JR東海と整備に向けた協定を締結し、実施設計を行っています。								
	問題課題	用地取得について、条件面で合意が得られていない地権者や、施設の移転に向けた作業・手続きに想定以上の期間が必要な地権者がいます。関連する工事が同時期に行われるため、工事の優先順位や駅利用者を考慮し、施工手順等を詳細に検討する必要があります。								
	具体的改善内容	地権者や関係機関との協議を密に行い、スケジュールに遅れが無いように用地取得を行います。周辺道路や駐車場の整備時期については、工事の手戻りや施設利用等に大きな支障がないように整備スケジュールを調整します。								
査定								次年度方向性	現状で継続	

3. 達成度評価

達成度	A	【達成度凡例】 A…目標値を達成 B…目標値の7割以上達成 C…目標値の5割以上達成 D…目標値の3割以上達成 E…目標値の3割未満の達成
-----	---	--

4. 二次評価

（1）項目別評価				（2）個人総合評価	
達成度	事業の成果や実施の目標に対する達成状況。	評価		評価	
効率性	実施体制、実施主体を含め、事業の進め方が明確でスムーズか。	評価		意見・コメント	
必要性	市民ニーズや社会情勢等を踏まえた事業を実施する必要はあるか。事務事業の現状や成果から考えて、廃止・休止の可能性はあるか。 ※完了した事業については、効果の観点で必要であったか評価する。	評価			
明瞭性	事業の内容やその評価が、市民に分かりやすいか。	評価			

【二次評価基準凡例表】

（1）項目別評価					
評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たりのな実施に見える。方法の見直しが強求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

（2）個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

（3）委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和8年度 瑞浪市総合計画推進委員会 事業評価シート

担当課	環境課	担当課長名	森本 英樹
-----	-----	-------	-------

1. 事業概要				部・局名	経済部	課・所属名	環境課
施策体系	大 区 分	持続可能なまちづくり			事業概要	太陽光発電設備等への設置に対し補助金を交付します。 対象：蓄電池、V2H、燃料電池。太陽光発電設備は同時設置のみ；FIT、非FITいずれも可 ①蓄電池（10千円/KWh）最大100千円 ②V2H（次世代自動車用充電システム）一律100千円 ③燃料電池（家庭用燃料電池システム）一律100千円 ④住宅用太陽光発電システム（条件有り）最大60千円 ※④の補助は①又は②に連携させるための同時設置に限る 今後の地域新電力設立の有無により補助内容の見直し判断をします。	
	中 区 分	環境保全・エネルギー					
	小 区 分	脱炭素社会の推進					
実施事業	事 業 名	エネルギー利用最適化事業			翌年度以降3年間の内容		
	事業目的	地球温暖化対策の推進、地球環境の保全及び市民の日常生活における新エネルギーの利用を促進するため、新エネルギーシステムを設置する市民に対し、瑞浪市エネルギー利用最適化事業補助金を交付します。					
	目標指標	補助件数					
	事業期間	H21～					
	総括表掲載	掲載あり					
	二次評価対象	○					
予算科目	会 計		款	項	目	事業名	
	001 一般会計		004 衛生費	003 環境費	001 環境総務費	04030117	エネルギー利用最適化事業

2. 事業評価

投入コスト（単位：千円）								目標値実績（単位：件）		
年度区分等	決算事業費（単位：千円）							年度	実績	目標
	国庫支出金	県支出金	起債	基金	その他	一般財源	計			
6						4,200	4,200	5	44.0	30.0
7						3,438	3,438	6	39.0	70.0
8								7	31.0	70.0
9								8	0.0	70.0
10								9	0.0	70.0
11								10	0.0	70.0
12								11	0.0	70.0
13								12	0.0	70.0
14								13	0.0	70.0
15								14	0.0	70.0
計						7,638	7,638	15	0.0	70.0
担当課評価	実施状況	新エネルギーシステム等の設置者へ補助を行いました。 R6 対象39人（①34件2,727千円、②4件400千円、③2件873千円） R7 対象31人（①30件2,618千円、②1件100千円、③0件、④12件720千円）								
	問題課題	環境省が公表する自治体排出カルテでは、本市の太陽光発電の再エネ導入ポテンシャル441,361(MWh/年)に対する最新の再エネ導入量は 105,228(MWh/年)で導入割合は23.8%となっており、再生可能エネルギーの導入余地がまだ多く残されています。								
	具体的改善内容	太陽光発電と蓄電池等のシステムを構成する場合、初期投資が高額となるため、引き続き補助制度を実施することで、再生エネルギー導入の推進を図ります。								
査定							次年度方向性	現状で継続		

3. 達成度評価

達成度	D	【達成度凡例】 A…目標値を達成 B…目標値の7割以上達成 C…目標値の5割以上達成 D…目標値の3割以上達成 E…目標値の3割未満の達成
-----	---	--

4. 二次評価

二次評価委員名			
(1) 項目別評価		(2) 個人総合評価	
達成度	事業の成果や実施の目標に対する達成状況。	評価	
効率性	実施体制、実施主体を含め、事業の進め方が明確でスムーズか。	評価	
必要性	市民ニーズや社会情勢等を踏まえた事業を実施する必要はあるか。事務事業の現状や成果から考えて、廃止・休止の可能性はあるか。 ※完了した事業については、効果の観点で必要であったか評価する。	評価	
明瞭性	事業の内容やその評価が、市民に分かりやすいか。	評価	
		意見・コメント	

【二次評価基準凡例表】

評価項目	A(25点)	B(20点)	C(15点)	D(10点)	E(5点)
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たりのな実施に見える。方法の見直しが強く求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

(2) 個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

(3) 委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	